



- RINYA -

7

2021  
No.172

特集

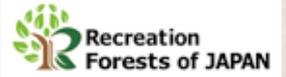
**「持続性」と「成長」両立の時代へ** 新たな森林・林業基本計画が決定！  
連続テレビ小説「おかえりモネ」からみえる林業の世界



詳細については「日本美しの森 お薦め国有林」のウェブサイト  
([http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/katuyo/reku/rekumori/](http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/))をご覧ください。



にっぽん  
「日本美しの森 お薦め国有林」のご紹介



## えにわ湖自然の森自然観察教育林 (北海道恵庭市)

### 【概要】

えにわ湖自然の森自然観察教育林は、札幌市の南東に位置する恵庭市街から道道117号を支笏湖方面に約15km進んだところにあります。かつて、戦後復興のため一部の区域で木材生産が行われていましたが、現在ではさまざまな樹種からなる自然豊かな森で覆われているほか、区域内を流れる漁川(ラルマナイ川の支流)が作りだした恵庭渓谷では三つの滝がそれぞれに見応えのある姿を見せるなど優れた景勝地となっており、恵庭市より「ラルマナイ自然公園」に指定され、散策路や展望台などが整備されています。

### 【見どころ】

恵庭渓谷の三つの滝はそれぞれに個性的で、優雅に白い扇を広げたような「白扇の滝」、大木の間を岩盤を雄々しく流れ落ちる「ラルマナイの滝」、源義経の黄金伝説の伝わる幽玄な「三段の滝」があり、四季折々の風景に映えるその様相は見る者を魅了します。特に紅葉期はその絶景を一目見ようと多くの人が訪れ、たいへん賑わいます。えにわ湖周辺には、春には花見、秋には紅葉を楽しめる「えにわ湖自由広場・桜公園」や、動植物の観察や森林環境教育の場として利用できる「緑のふるさと森林公園」が整備されています。そこにはミズナラやイタヤカエデなど北海道らしい樹種で構成された森林が広がり、北海道固有種であるエゾリスやエゾタヌキ、野鳥ではハシブトガラ、シマエナガなど多様な生物が生息しています。観光だけではなく豊かな自然を体感できる場として多くの方々に親しまれています。

※参考URL (恵庭市ウェブサイト)

恵庭渓谷

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kurashi/shiseijoho/hanatokanko/kankosupotto/3560.html>

緑のふるさと森林公園

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kurashi/shiseijoho/hanatokanko/kankosupotto/3558.html>

### 【アクセス】

〈車の場合〉

緑のふるさと森林公園まで

新千歳空港より、道央自動車道、道道117号使用で約30km (約30分)

札幌市中心部より、道央自動車道、道道117号使用で約50km (約50分)

ラルマナイの滝駐車場、白扇の滝駐車場まで

緑のふるさと森林公園から約5km (車で5分)



夏の白扇の滝



緑のふるさと森林公園



北海道固有種のエゾタヌキ



7 2021  
No.172

## Contents

- 03 特集1 「持続性」と「成長」両立の時代へ 新たな森林・林業基本計画が決定!
- 07 TOPICS 01 第71回 全国植樹祭 しまね2021 ～木でつなごう 人と森との縁の輪～
- 08 特集2 連続テレビ小説「おかえりモネ」からみえる林業の世界
- 12 TOPICS 02 第5回「山の日」記念全国大会が開催されます!! ～九州で初開催!～
- 14 TOPICS 03 公共建築物等木材利用促進法の改正について ～公共建築物だけでなく、民間建築物を含む建築物一般でウッド・チェンジ!～
- 16 日本の林業遺産を知ろう! ⑦ 平蔵沢ヒバ人工林施業展示林
- 18 TOPICS 04 一般社団法人 日本森林学会 2020年度の「林業遺産」に4件が選定されました
- 19 みどりの女神が行く!

【表紙の写真】

伝統芸能伝承館「森舞台」

(宮城県登米市、隈研吾氏設計、1997年竣工)

webアンケートにご協力をお願いします!

<https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/kouhou/202107.html>



# 「持続性」と「成長」 両立の時代へ



## 新たな森林・林業基本計画が決定！

森林・林業基本計画は、森林・林業・木材産業に関する政策の基本的な方針を定めるもので、おおむね5年ごとに変更しています。今回の変更に向けては、令和2年10月から林政審議会での議論を重ね、6月15日に新たな基本計画が閣議決定されました。

新たな基本計画が示す、これからの森林・林業・木材産業が目指す方向や取り組むべき施策について紹介します！

## 森林・林業・木材産業による グリーン成長

前回の基本計画では、我が国の人工林資源が成熟し本格的な利用期を迎えたことなどを背景に、森林・木材産業の「成長産業化」を掲げ、施策を推進してきました。その結果、国産材の供給量が増大し、林業産出額や林業従事者の給与が増加するなど、明るい兆しが見え始めています。一方、林業や木材産業の競争力強化などの取組は未だ途上にあります。さらには、主伐後の再造林が十分に進んでいないことや、豪雨などの増加による山地災害の発生、林業を支える林業従事者の減少、山村地域の過疎化などの課題もあります。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた森林吸収量の確保・強化や、新型コロナウイルス感染症等による不透明な木材需給への対応など、森林・林業・木材産業の取組を強化することも重要です。

こうした情勢を踏まえ、新たな基本計画では、林業・木材産業が持つ持続性を高めながら成長発展し、人々が森林の多面的機能による恩恵を享受することを通じて、社会経済生活の向上等に貢献する「グリーン成長」の実現を目指すこととしています。

森林は私たちの暮らしの根幹を支える存在です。林野庁では、森林に関わる産業の「持続性」と「成長」を両立させることにより、豊かな未来へ向かって取り組んでいきます。

写真：御岳山と三浦貯水池



# グリーン成長に向けた施策 5つのポイント

新たな基本計画では「持続性」をキーワードに、環境・経済・社会の諸課題に統合的に取り組めます。

まず、林業や木材産業の基盤となる「森林資源の持続性」の確保のためには、主伐後の再造林を適切に行うことが必要ですが、立木販売収入から再造林費用を賄える状況ではなく、再造林が十分に進んでいません。

また、「林業経営の持続性」については、人口減少が進む中、労働力をどのように確保・育成していくか、また、安定的に収益が確保できるように、林業経営体の経営基盤と経営力を強化することが課題です。

さらに、「木材産業の持続性」については、外国産材や他資材に対抗し得る品質・性能の確かな製品や地域のニーズに対応した製品の供給、新設住宅着工戸数の減少が見込まれる中で新たな需要の獲得が課題です。加えて、森林の約6割が賦存し、林業に携わる方々が居住する「山村地域」についても、生活が持続的に成り立つようしなければなりません。

新たな基本計画では、こうした課題を解決し、森林・林業・木材産業を真に持続的な姿へと発展させていくために必要な施策を5つのポイントにまとめました。

## 01 森林資源の適正な管理と利用

森林資源の循環利用を進めつつ、多様で健全な姿へ誘導するため、再造林や複層林化、天然生林の保全管理を推進します。また、国土強靱化に向けた取組を加速させるほか、間伐・再造林を通じて、森林吸収量の確保・強化も図ります。

### 主な施策

- ・ 森林計画制度の下での適正な伐採・更新の確保
- ・ 生物多様性の保全等に配慮した森林施業の推進
- ・ 国土強靱化に向けた森林整備・治山対策の加速化
- ・ 間伐等特措法の枠組みを活用した間伐・再造林の推進



## 02 「新しい林業」に向けた取組の展開

新技術を取り入れ、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を展開します。また、林業従事者の所得と労働安全の向上を図りつつ、「長期にわたる持続的な経営」を実現できる林業経営体を育成します。

### 主な施策

- ・ エリートツリーの活用による低コスト造林・収穫期間の短縮
- ・ 自動操作機械による林業作業の省力化・軽労化
- ・ 施業集約化と長期施業受委託による長期的な事業確保、事業連携等による経営基盤や経営力の強化



- ・ 路網と高性能林業機械を組み合わせた作業システムの導入、ICTを活用した生産流通管理の効率化
- ・ 緑の雇用事業等による人材の確保・育成
- ・ 林業従事者の労働環境の改善に向けた能力評価の導入や労働安全対策の強化



## 04 都市等における「第2の森林」づくり

中高層建築物や非住宅分野等での新たな木材需要の獲得を目指します。木材を利用することで、都市に炭素を貯蔵し温暖化防止に寄与します。また、付加価値の高い木材製品の輸出の促進や、木質バイオマスの利用に取り組みます。

### 主な施策

- ・ 都市や非住宅分野での木材利用に向けた耐火部材やCLT等の開発・普及、部材の仕様の標準化
- ・ 輸出先国・地域のニーズや規格基準等に対応した製材・合板等の輸出
- ・ 未利用材を活用した木質バイオマスの熱電利用



## 03 木材産業の競争力の強化

外国産材等に対抗できる国産材製品の供給体制を整備し、国際競争力を向上します。また、中小地場工場等は、地域における多様なニーズに応える多品目の製品を供給できるようにし、地場競争力を向上します。

### 主な施策

- ・ JAS・KD材、集成材等の低コスト供給体制の整備、工場間連携・再編等による規模拡大
- ・ 中小地場工場等における単価の高い地域材製品や、地域の細かなニーズに対応した製品等の供給体制の整備
- ・ JAS製品の利用促進に向けた基準の合理化
- ・ 広葉樹家具など生活分野での木材利用



## 05 新たな山村価値の創造

山村地域において、地域資源を活かした産業の振興に加え、森林サービス産業の育成、関係人口の拡大を目指します。また、集落維持の下支えとして、農林地の管理・利用などの協働活動を促進します。

### 主な施策

- ・ 地域住民の所得確保に向けた農林複合的な仕事やきのこなど地域資源の活用の促進
- ・ 里山管理等の協働活動を通じた集落の維持活性化
- ・ 関係人口の拡大に向けた森林サービス産業の推進



# 森林・林業基本計画で掲げる 2つの目標

森林・林業基本計画では、森林・林業基本法に基づき、施策を推進していく上で、取組の進捗状況の評価ができるよう、2つの目標を設定しています。

## 1 森林の有する多面的機能の 発揮に関する目標 (表1-1)

森林の多面的機能の発揮に向けて、多様な森林がバランスよく存在する「指向する森林の状態」まで誘導することとし、これに到達する過程の5、10、20年後の森林の状態を目標として設定したものです。

具体的には、現在の育成単層林のうち、林業経営に適した森林は、主伐後の植栽を確実にい育成単層林として維持し、林業経営にとって条件が不利な森林は、針広混交林等の育成複層林化を図ることとしています。

## 2 林産物の供給・利用に関する目標 (表2-1、2-2)

国産材の供給や利用の促進に向けた目標で、新たな基本計画では、令和元年の木材供給量を、令和12年までに1.4倍まで拡大していく目標を掲げています。供給される木材については、より価格が高い製材用材や合板用材などの建築用材等への利用を促進し、山元への還元を図っていく考えです。

表2-1 木材供給量の目標

	R元年実績	R7年	R12年
木材供給量の目標 (百万m <sup>3</sup> )	31	40	42

1.4倍

表2-2 用途別の木材需要量の見通しと利用量の目標  
(百万m<sup>3</sup>)

用途区分	総需要量			利用量		
	R元年 実績	R7年 見通し	R12年 見通し	R元年 実績	R7年 目標	R12年 目標
建築用材等計	38	40	41	18	25	26
建築用材	28	29	30	13	17	19
合板用材	10	11	11	5	7	7
非建築用材等計	44	47	47	13	15	16
パルプ・チップ用材	32	30	29	5	5	5
燃料材	10	15	16	7	8	9
その他	2	2	2	2	2	2
合計	82	87	87	31	40	42

表1-1 森林の有する  
多面的機能の発揮に関する目標

	R2年 (現況)	目標とする森林の状態		
		R7年	R12年	R22年
森林面積(万ha)				
育成単層林	1,010	1,000	990	970
育成複層林	110	130	150	190
天然生林	1,380	1,370	1,360	1,340
合計	2,510	2,510	2,510	2,510
森林蓄積(百万m <sup>3</sup> )	5,410	5,660	5,860	6,180

表1-2 指向する森林の状態(参考) (万ha)

育成単層林	育成複層林	天然生林	合計
660	680	1,170	2,510

**注意事項**

- ・各表：四捨五入のため計が一致しない場合があります。
- ・表1-1-1-2:「目標とする森林の状態」や「指向する森林の状態」は、R2年を基準に算出。R2年の値は、令和2年4月1日の数値です。
- ・表2-1-2-2:用途別の利用量は、国産材に係るものです。また、「燃料材」は、ペレット、薪、燃料用チップを、「その他」はしいたけ原木、原木輸出等を指します。

新たな基本計画の詳細はこちら！

林野庁ホームページにおいて、森林・林業基本計画の本文や、林政審議会での検討資料などをご覧いただけます！

森林・林業基本計画

検索



**森林・林業・木材産業  
関係者の皆さまへ**

新たな基本計画のキーワードである「持続性」の核となるのが、再造林を通じた我が国の森林資源の確保です。

このことは、単に森林所有者の問題としてだけではなく、川上・川中・川下のサプライチェーンを構築する者全体の問題として、それぞれの相互利益を拡大しつつ、再造林につなげるとの視点を共有し、努力していくことが期待されます。





# 第71回 全国植樹祭 しまね 2021

木でつなごう 人と森との 緑(えにし)の輪



おことばを述べられる天皇陛下 (提供: 島根県)



お手植えの介添え役にお声掛けされる皇后陛下 (提供: 島根県)



スギをお手植えされる天皇陛下 (提供: 島根県)



昭和天皇お手植えのクロマツをご収穫される天皇陛下 (提供: 島根県)



記念植樹される野上農林水産大臣

令和3年5月30日、島根県大田市三瓶山北の原で「第71回全国植樹祭」が開催され、天皇皇后両陛下はオンラインで御臨席されました。

島根県では、昭和46年4月18日に同地で「第22回全国植樹祭」が開かれ、天皇皇后両陛下によるお手植え(クロマツ)などの式典行事と参加者による記念植樹(クロマツ約2万本)が行われており、今回の大会は2回目の開催となります。

式典前のプロローグでは、島根県において神話の時代から育まれてきた「緑の循環」の歴史をダンスやコーラス等の映像で紹介されました。

式典では、天皇陛下から「人々が連携、協力することにより、植えて、育てて使い、また植えるといった『緑の循環』が広く実現することを期待します」とのおことばを賜りました。また、大島理森国土緑化推進機構会長(衆議院議長)及び丸山達也島根県知事のあいさつがあったほか、全国の緑化功労者や各種コンクールの表彰、野上浩太郎農林水産大臣などによる記念植樹が行われました。

赤坂御用地においては、天皇陛下がスギ、コウヤマキの苗木を、皇后陛下がヤマザクラ、シャクナゲの苗木をそれぞれお手植えされました。また、天皇陛下はクロマツとエノキ、皇后陛下はアカマツとクルミの種子をお手播きされました。さらに、天皇陛下による初めての(昭和天皇が第22回全国植樹祭でお手植えされたクロマツの)御収穫が行われました。

最後に、国土緑化推進機構の濱田純一理事長が大会宣言を行い、丸山島根県知事から来年全国植樹祭が開催される滋賀県の三日月大造知事に全国植樹祭シンボルである「木製の地球儀」をリレーして幕を閉じました。

次回の第72回全国植樹祭は、来春、滋賀県の鹿深夢の森を主会場に開催される予定です。

## 【全国植樹祭とは】

全国植樹祭は、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する理解を深めるため、昭和25年から各都道府県を巡って毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的な行事です。

特集2

# 連続テレビ小説 「おかえりモネ」から みえる林業の世界

とよままち  
登米町森林組合

参事 竹中 雅治

(登米市森林管理協議会 F M 認証材流通事務局)



連続テレビ小説



写真提供 NHK



連続テレビ小説「おかえりモネ」(月〜土前8:00NHK総合)ほか ※土曜日1週間の振り返り、ご覧頂いていますでしょうか？

舞台は宮城県。清原果耶さんが演じるヒロインの永浦百音(愛称「モネ」)は気仙沼湾の亀島で生まれ育ち、高校卒業後に登米市の米麻町森林組合に就職します。下宿先の家主で組合の代表も務める地元の有力な山主や森林組合の同僚、地域の人たちと触れ合いながら成長するモネは、未来がわかる天気予報に興味を持ち、気象予報士を目指す事になります。またモネの実家が営む牡蠣の養殖業についても描かれ、森と海のつながりの大切さも描かれています。

林業という営みがドラマで取り上げられる、ましてやヒロインが森林組合の職員を演じるというのは初めての事ではないでしょうか。

## ドラマを通して

### 全国の林業に光を



ドラマの制作にあたり私は「林業考証」を担当させていただきました。きっかけは一昨年頃、スタッフの方々がドラマづくりの検討にあたって林業について調べる中で、登米町森林組合のホームページを覗いて頂いた事のようなのでした。以降何度となく森林をご案内しているうち、昨年5月に朝ドラの制作発表があり、いままで対応してきた経緯から私に林業考証の依頼がありました。そ

の時までまさか朝ドラとは知らず、驚きと喜びと、これからのように対応していけばよいのだろうというところまでいが交錯しました。

林業考証とはなにか？専門的な助言や事実関係の確認、資料の提供、そして打合せや収録への参加などが主な業務となりますが、務める中で私が一番大切にしたい事は、登米市を舞台としながらも、このドラマを通じて全国の林業に光が当たるようにスタッフの方々とお話を積み重ねていくことでした。ドラマをご覧になる方は林業の知識など無い方が大半でしょう。ですから専門的な用語や資料をなるべくかみ砕いてスタッフの方々に伝えたり、関連する事柄にも思いが巡るようにお話を積み重ねてきたつもりです。スタッフの方々は私たち林業人の話にしっかりと耳を傾けて頂き、また自らも林業について学ばれてドラマづくりに挑まれました。ですからドラマという物語の中に、林業の要素が沢山組み入れられています。

それではドラマの内容を振り返りながら、登米地域で行われている林業を事例にして詳しくみていきますよ。

## 心と身体を元気にする取組

### 「森林セラピー」



「心も体も、こころにちは」という大きな声が森に響きわたるラフターヨガのシーンとは



写真1 森林セラピー基地「登米ふれあいの森」

ても印象的でしたね。「森林セラピー」は森林浴の効果を科学的に解明して、心と身体の健康に活かそうという取組です。科学的に、とはどういうことか？ 森林と都市部での比較評価により、例えば心拍の「ゆらぎ」の測定によって森林ではリラックスした時に高まる「副交感神経活動」が昂進するなどが確認されています。このような評価試験を行い効果が確認された地区が森林セラピー基地として認定され、全国に65箇所あります。

全国の森林セラピー基地では、その土地らしい体験プログラムが企画されているほか、地元の旬

の食材を使ったお弁当の提供などが行われている所もあり、ヘルスツーリズムを気軽に楽しむ事ができます。登米市にも森林セラピー基地「登米ふれあいの森」があり、ラフターヨガは地元の高齢者の方々の健康づくり講座の一環として取り入れているものでした。

みなさんの近くにも森林浴を楽しめる場所がありますので、ぜひ足を運んでください。

リンク先：<https://www.fo-society.jp/therapy/index.html>



## 組手仕による震災復興支援



「何にでもなる魔法の材料」として紹介された「組手仕くみこまじ」は、ドラマの中で椅子や本棚、盆棚にと自在に組み立てられていましたね。この組手仕は愛知県の方々によって開発され、その後鳥取県と共に普及がなされていきました。転機は東日本大震災、当時の避難所での生活はプライバシーを確保する間仕切りがなく、また避難所生活が長期化することが懸念されていました。そこで国土緑化推進機構の緑の募金使途限定募金を活用して愛知、鳥取、そして栗駒と登米で作られた組手仕が避難所へと寄贈されました。

組手仕はちょっとしたコツを理解すれば子供から年配の方まで簡単に組み立てる事が出来るので、組立を行う中で様々な活用アイデアが出てきました。例えば子どもが勉強する為の座卓がないとい

う事でその場で文机をつくったり、情報スペースとして配布物を並べたり掲示ができる棚がつけられる等、避難所で必要なものが次々と作られていきました。まさに「何にでもなる魔法の材料」ですね。

ドラマをご覧になった方から、東日本大震災のとき避難所で組手仕の棚を使い今の住まいでも使っていますよ。というお電話を頂きました。また仮設図書室で組手仕書架を利用頂いた名取市図書館からも震災を振り返る講座開催のお話があり、ドラマを通して震災復興と防災について考える機



写真2 避難所への組手仕の寄贈

会が出来たことがとてもうれしかったです。

リンク先：<https://forest-style.jp/news/001102.html>

## 広葉樹の活用と

### 太陽熱木材乾燥庫



売れ残りがちな広葉樹を活用する事業を考えるよう指示されたモネは、学童机をナラ材で作って売り込む事を思いつきましたね。登米市でもこれ



写真3 学童机「まなび」



写真4 太陽熱木材乾燥庫 ToSMS

に似た取組が行われていました。全国各地で「ナラ枯れ」の被害が深刻化しつつあり、さらに東日本大震災にともなう放射性物質汚染によって椎茸原木となるナラ材が使用出来ない事態となりました。そこでナラ材を有効に活用すべく、登米町森林組合が中心となり産官学による協議会を設立して、ナラ材を天板に活用した学童机「まなび」を開発、登米市内のすべての小中学校で採用頂きました。

リンク先：<https://spark.adobe.com/page/X2GO4/>



またドラマでは木材の乾燥に時間がかかり納期

に間に合わない事がわかり、モネは理科の教科書で蒸発の仕組みを学び直した事を活かして、ビニールハウスで乾燥を早める事を思いつきましたね。太陽熱を利用するのはよいアイデアですが、もっと言えば、モネは温度が高く湿度が低い風を送り続ければ洗濯物は早く乾く事を理解したように、効率的な乾燥には温度と湿度と風の3要素が大事です。登米町森林組合には「太陽熱木材乾燥庫 ToSMS」があり、自然乾燥と ToSMS、乾燥機を併用して高品質な木材を短時間で、環境への負荷をなるべくかけずに生産しています。

リンク先：<https://forest100.jp/solar/>



### 海とつながる登米の森

〜FSC森林認証〜



モネは気象に関心を持つ事で、森も海も水を紹介してつながっている事を自身の生活や仕事を通して経験から学んでいきました。海とつながる登米の森は、どのような森なのでしょう。平成28年登米市では市有林2,717haでFSC®森林認証を取得して以来、現在個人所有林等を含めて9,167haと民有林面積の47%が認証林となっています。地域をあげて森林認証に取り組むことにより、適切な森林管理によってSDGsにある「陸の豊かさ」と「海の豊かさ」を守りつつ、認証材流通の一元管理によって木材の需要拡大を両立しています。またこの取組は林野庁から林業成長産

業化モデル事業として指定を受けて、さらなる拡充を行っているところです。

リンク先：<https://forest100.jp/FSC/>



### 「おかえりモネ」が私たちに 問いかけていること



林業考証という仕事を通じてドラマの中のモネという新人の森林組合職員と接してきましたが、モネは私に林業人としての大切な事を思い起こさせてくれました。

モネは常に使う人の目線でその人の気持ちに寄り添い事を進めていきます。ただごとくとも自ら考えて課題を解決しながら、森林作業従事者や木工職人さんの心に働きかけて人を動かし、物を造り上げていきます。今、森林整備や製材加工業が大規模集約化していく中で、どうかすると使い手の姿が見えなくなってしまう。サプライチェーンの構築という言葉が林業界でもよく聞かれるようになりましたが、単に木材を受け渡していくということではなく、共創していく事の大切さを改めて考えさせられました。

林業を通して森の豊かさや森と海のつながりを知ったモネが、その経験を活かして気象予報士として活躍する姿を楽しみに、これからもドラマを見続けたいと思います。

# 第5回「山の日」記念全国大会が開催されます!!

九州で初開催!~

日本は、国土の約7割を森林が占め、その多くが「山」に存在しています。日本人は古来から山に畏敬の念を抱き、森林からの恵みに感謝し共存してきました。

この日本の豊かな森林の恵みに感謝し、美しい山を次の世代に引き継ぐため、平成28年に国民の祝日として8月11日を「山の日」とすることが定められました。

「山の日」には、毎年、「山の日」記念全国大会が開催されており、これまで、長野県上高地及び松本市(平成28年度)、栃木県那須町(平成29年度)、鳥取県大山町及び米子市(平成30年度)、山梨県甲府市(令和元年度)で開催されました。いずれの大会も、記念式典などに多くの方が来場され、子供から大人まで幅広い世代の方に、山の魅力や森林の素晴らしさを感じていただく機会となりました。

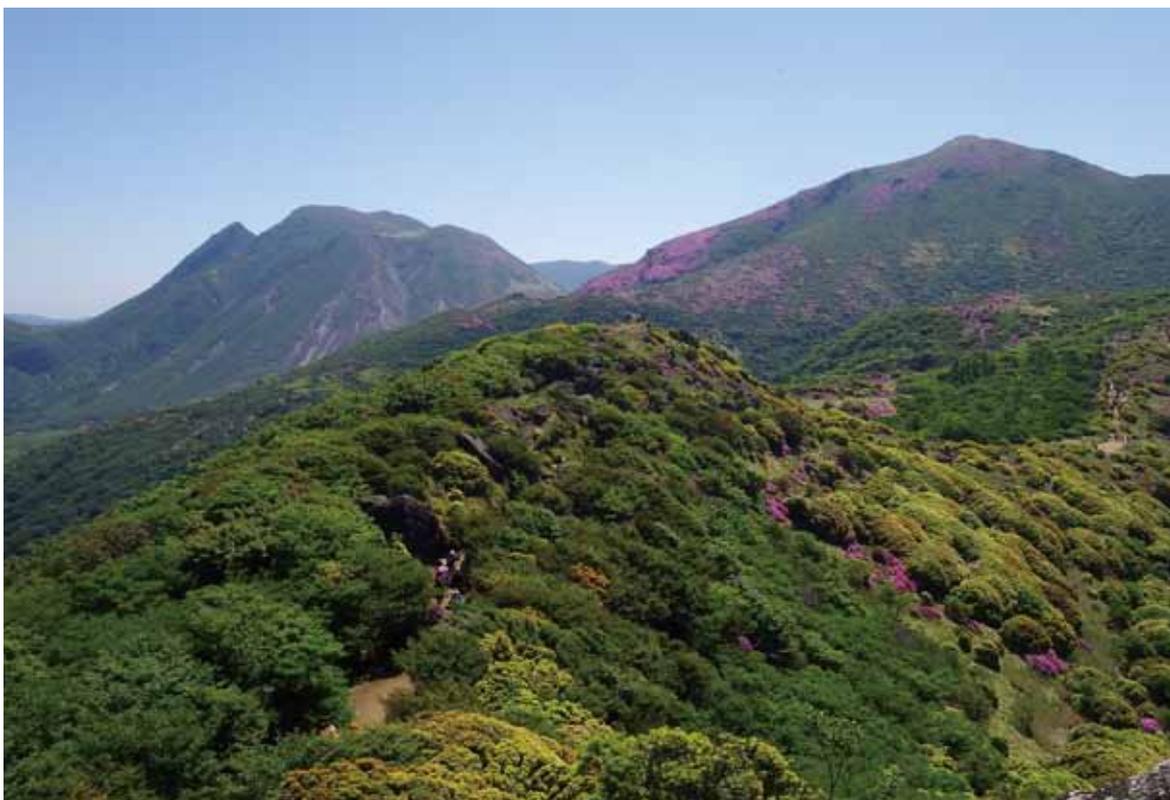
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により「山の日」記念全

国大会は延期されましたが、今年(今年)は、8月11日(水)に大分県の九重町(このえまち)と竹田市たけたしで、「山に遊び 恵みをいただく」をテーマに開催されることになりました。

大分県は、九州本土で最高峰である「くじゅう連山」があり、祖母傾山系そぼかたななど九州を代表する山岳に囲まれています。全国大会ではこれらの山の魅力や、山を支える人々の営み、山の恵みなどを全国に広く情報発信するイベントになる予定です。

全国大会では、記念式典のほかに、九重町の九重文化センターで著名人によるトークイベント、また同町の長者原園地ちやうしゃげんでは歓迎フェスティバル(クラフト体験や丸太切体験、ステージイベントなど)が開催されます。

また、この夏は全国大会のほか、各地の「山」では自然体験や健康づくり活動など様々なイベントが開催されます。新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じた上で、ご参加いただき、山や森林に親しんでみてはいかがでしょうか。



くじゅう連山とミヤマキリシマ

日程	実施場所 (都道府県・市町村)	行事名	参加人数 (予定)	主催者
未定	北海道内	山の日記念森林散策会	30名	常呂川森林 ふれあい推進センター、 オホーツク総合振興局東部森林室
8月7日	秋田県秋田市	「山の日」イベント 仁別の森林(もり)で遊ぼう！ 夏休み親子森林教室	5組 10名程度	東北森林管理局技術普及課
8月7日	富山県立山町	とやまの山岳環境整備 ボランティア	60名	富山県自然保護課
7月28日	徳島県三好市	三嶺自然林食害防止柵 ボランティア活動	約20名	三嶺の自然を守る会
8月8日	徳島県三好市	はじめての山登り (ジュニア・ネイチャー リーダー養成)講座	小学生及びその 保護者(一般公 募)10名程度	徳島県・剣山国定公園地域 連携協議会
8月8日	徳島県那賀郡那賀町	南つるぎスカイラリー	約30名	南つるぎ地域活性化協議会
8月11 ～12日	大分県九重町・竹田市	第5回「山の日」記念全国大会 エクスカージョン (日本百名山「久住山」登山と夏山満喫コース)	定員20名 最小催行 人員10名	第5回「山の日」記念全国大会 実行委員会(大分県)
8月11 ～12日	大分県九重町・由布市	第5回「山の日」記念全国大会 エクスカージョン (乗馬とフルーツ狩り由布院散策コース)	定員20名 最小催行 人員10名	第5回「山の日」記念全国大会 実行委員会(大分県)
8月11 ～12日	大分県九重町	第5回「山の日」記念全国大会 エクスカージョン (九重「夢」大吊橋の日本コース)	定員20名 最小催行 人員10名	第5回「山の日」記念全国大会 実行委員会(大分県)
8月11 ～12日	大分県竹田市	第5回「山の日」記念全国大会 エクスカージョン (高原の風と炭酸水を味わうコース)	定員20名 最小催行 人員10名	第5回「山の日」記念全国大会 実行委員会(大分県)
8月11 ～12日	大分県竹田市	第5回「山の日」記念全国大会 エクスカージョン (高原の風と温泉と城下町を味わうコース)	定員20名 最小催行 人員10名	第5回「山の日」記念全国大会 実行委員会(大分県)

※イベントの開催状況については、事前にHP等で情報をご確認ください。

## 過去に開催された「山の日」を普及啓発するイベント



森林散策イベント(秋田県)



ミニ椅子づくりイベント(長野県)



外来植物除去作業(富山県)



木道修理作業(富山県)



高山植物PRカード配布(長野県)



食害防止柵ボランティア活動(徳島県)

# 公共建築物等木材利用促進法の改正について

## 公共建築物だけでなく、民間建築物を含む建築物一般でウッド・チェンジ！

本年6月、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律が成立しました。

### 1 これまでの取組、法律改正の背景

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（以下「法」という。）は、木造率が低い公共建築物にターゲットを絞り、国が率先して木材利用に取り組みとともに、地方公共団体や民間事業者にも国の方針に即して主体的な取組を促すことにより、民間建築物への波及効果を含め、木材全体の需要を拡大し、森林の適正な整備及び木材の自給率の向上に寄与することを目的として、平成22年に制定されました。

法に基づき、農林水産省及び国土交通省は、公共建築物における木材の利用の促進に関する基本方針を策定し、政府一体となり、公共建築物における木材の利用の促進に取り組んできました。

こうした中で、公共建築物の床面積

ベースの木造率は、法制定時の8.3%から令和元年度には13.8%に上昇し、基本方針において積極的に木造化を促進するとされている3階建て以下の低層の公共建築物の木造率も、法制定時の17.9%から令和元年度には28.5%に上昇しています（図1）。

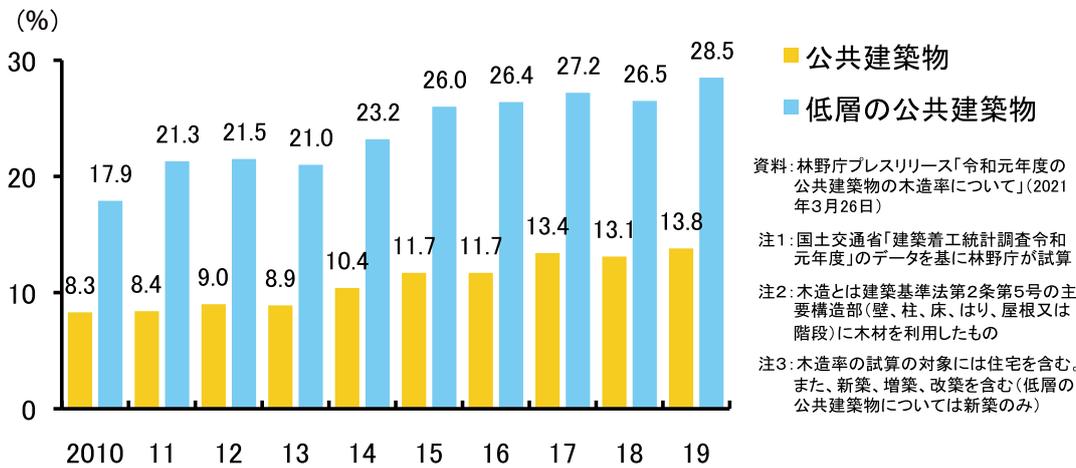
一方で、民間建築物については、木造率の高い低層の住宅以外にも木材の利用の動きが広がりがつつあるものの、非住宅分野や中高層建築物の木造率は未だ低位にとどまっています。

法制定から10年が経過し、その間に、耐震性能や耐火性能等の技術革新、建築基準の合理化によって、建築物における木材利用の可能性は大きく拡大しました。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するためには、「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用を進め、人工林の若返りを図ることが必要です。

こうした状況を踏まえ、今般、議員立法での改正法案の検討が進められ、6月11日に国会で成立しました。

### ▼公共建築物の木造率の推移(図1)



### ▼木造公共建築物の事例

国の公共建築物



林野庁四国森林管理局 嶺北森林管理署 (木造2階建て庁舎)

地方自治体の公共建築物



魚津市立星の杜小学校 木造3階建て校舎 (写真提供：株式会社 東畑建築事務所)

## 2 主な法律改正内容

主な改正内容は次のとおりです。改正法の施行日は、今年の木材利用促進月間の始まりに合わせ、令和3年10月1日です。農林水産省では、関係省庁はもとより、地方公共団体や関係団体等と連携し、建築物等におけるさらなる木材利用の推進に取り組んでまいります。

### (1) 法律の題名、目的の見直し

題名を「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に改め、目的に「脱炭素社会の実現に資する」旨を明示するとともに、木材利用の促進に関する基本理念が新設されました。

### (2) 公共建築物から建築物一般への拡大

基本方針等の対象を公共建築物から建築物一般に拡大します。また、建築物における木材利用を進めていくため、国又は地方公共団体と事業者等が「建築物木材利用促進協定」を締結できるという仕組みを設け、国又は地方公共団体は協定締結事業者等に対して必要な支援を行います(図2)。

### (3) 木材利用促進本部の設置

政府における推進体制として、農林水産省に、農林水産大臣を本部長、関係大臣(総務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣等)を本部長とする木材利用促進本部を設置し、基本方針の策定等を行います。

### (4) 「木材利用促進の日」、 「木材利用促進月間」の制定

国民の間に広く木材の利用の促進についての関心と理解を深めるため、漢字の「木」という字が「十」と「八」に分解できることにちなみ、十月八日を「木材利用促進の日」、十月を「木材利用促進月間」として法定化し、国等は普及啓発の取組を行います。

### ▼民間建築物における木材利用の事例



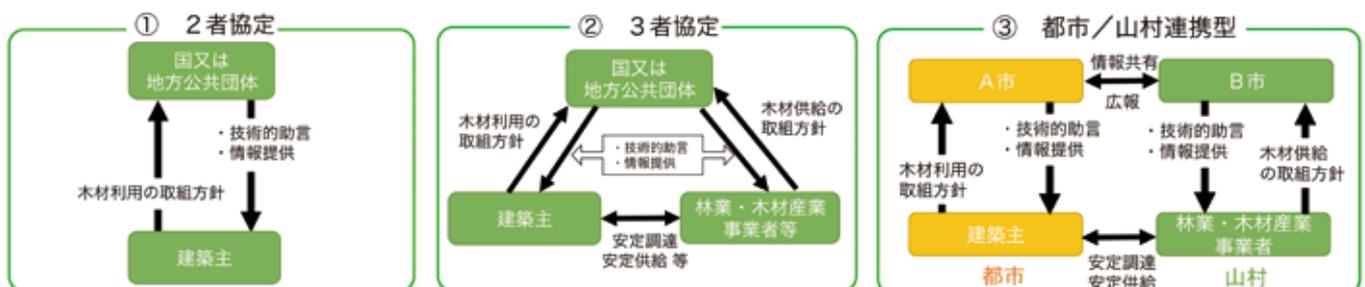
ヒューリック株式会社 銀座8丁目開発計画  
(木造と鉄骨造の混構造による高層商業ビル、  
CG:隈研吾建築都市設計事務所)



東京海上日動火災保険株式会社 TOKIO MARINE Career Development Center  
(内外装の木質化)



### ▼主な建築物木材利用促進協定のイメージ(図2)



関連情報を林野庁のウェブサイトでご覧いただけます。  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/index.html>



へいぞうざわ  
平蔵沢ヒバ人工林施業展示林は、現存では東北地方最古とされるヒバの高齢人工林です。岩手県滝沢市の市街地近く、東北森林管理局盛岡森林管理署管轄の影添国有林にあり、盛岡駅からも車で20分ほどでアクセスできる好立地にあります。

ヒバはアスナロの変種であるヒノキアスナロの、東北地方での呼び名です。石川県の能登地方ではアテと呼ばれます。国宝・中尊寺金色堂の主要建材であるなど、耐水性や防腐性に優れる木材となり、青森ヒバとして日本三大美林にも挙げられるヒバは、秋田スギや南部アカマツとともに森林大国の東北地方を特徴づける林業樹種といえるでしょう。なお、現在の東北森林管理局は青森・岩手・宮城・秋田・山形の5県をカバーしていますが、かつては青森宮林局が青森・岩手・宮城の3県を管轄範囲とする時代が長く続きました。ヒバは青森宮林局の看板樹種ともいえる存在で(写真↑)、関連する「我が国初の森林鉄道『津軽森林鉄道』遺構群及び関係資料群」や「坪毛沢ヒバ木製治山堰堤群」も林業遺産となっています。代表的なヒバ自生地としては青森県の下北半島・津軽半島のほか、岩手県の早池峰山、北海道の渡島半島などが挙げられます。耐陰性が高く、実生による更新と



林内の様子。ヒバの大木の間を歩く

日本森林学会による

# 日本の林業遺産を知ろう！

第27回

へいぞうざわ  
平蔵沢ヒバ人工林施業展示林

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

とうやま けいすけ  
當山 啓介



写真1 ヒバ材を用いた建築例  
(青森市森林博物館。旧青森森林局庁舎)



写真2 ギャップ(倒木化などで生じた空間)内では幼樹に陽が当たる



写真3 いわて林業アカデミーの研修光景  
(盛岡森林管理署提供)



写真4 駐車場付近からみた平蔵沢の様子

もに伏条更新(雪などで接地した枝が発根し、独立する)が可能なヒバは、主に天然林から木材生産されてきており、現在のヒバ林も天然林が大半です。一方で、江戸時代に下北半島までを治めていた南部藩(盛岡藩)は、津軽藩(弘前藩)と並んでヒバ資源を大いに利用し、藩命以外での伐採禁止措置などを行うとともに植林も推奨していました。南部藩に仕えて平蔵沢に豪壮な館を構えた牧田氏が、スギなどとともにヒバ(注:当時は松と呼んでいました)の苗木を下北半島から取り寄せ、江戸時代末期の天保14(1843)年頃に平蔵沢へ植林したとのこと。後にこの植林地は盗伐対策のためか藩有林とされ、管理は引き続き牧田氏が担ったようです。明治維新後、牧田氏は零落してしまい平蔵沢を離れたとのこと。

すが、ヒバ林は国有林として現在まで引き継がれてきました。平蔵沢のヒバ林は面積0.44haと広くはありませんが、平坦もしくは緩傾斜のヒバ林の間を縫って小川が流れる心地の良い空間です。およそ180年を経た現在も大きく乱れた樹形は少なく、一斉人工林らしさを保っています。後継となるヒバ稚樹・幼樹も下層に多く見られ、一部では幹折れや倒木によって林床がかなり明るくなっている部分もあります(写真2)。

先述のとおりヒバ林業は天然林中心に行われていますが、歴史的に様々な人為的介入を経てきており、この郷土樹種に植林や一斉造林の選択肢があることも重要です。平蔵沢の高齢人工林は替えの利かない先行事例であり、1955(昭和30)年には学術参考林に、1991(平成3)年からは展示林に指定され、盛岡営林署、のちに盛岡森林管理署によって保護されてきました。また、伏条更新を含めてその動態について様々な調査研究も行われてきました。近年の管理方針は積極的な人為介入を行うよりも推移の観察を旨としており、今後さらに天然林的多層・異齡の森林構造に推移していくのか注目されます。他所のヒバ天然林と比較してみるのも面白いでしょう。

天然林、人工林を問わず、非常に優良な森林資源はなかなか人里近くに残っていないものです。アクセス良好かつ林内を歩くにも快適な平蔵沢のヒバ林は、研修や体験授業などを通じてヒバや森林・林業に関する学びの機会を提供し(写真3)、またその環境を楽しむという役割を高度に果たせる林業遺産だといえるでしょう。経済的価値が高いヒバ林は歴史的に活発に収穫されてきた中で、盛岡森林管理署に残っているこの貴重な森は、長い歴史の中で林業の有志が様々な挑戦を行ってきたことの生き証人であるように感じました。なお、平蔵沢のヒバ林へは、駐車スペースから平坦な道を徒歩数分でアクセスできます(写真4)が、訪れる際にはハチヤやヘビ、クマにご注意ください。案内を希望される場合や大人数で見学を希望される場合は盛岡森林管理署に事前にご相談ください、とのこと。最後に、盛岡森林管理署の取材協力に感謝いたします。

参考文献

青森営林局「青森のヒバ」(1963)



# 一般社団法人 日本森林学会

## 2020年度の「林業遺産」に4件が選定されました

日本各地の林業は、地域の森林をめぐる人間の営みの中で編み出され、明治期以降は海外の思想・技術も取り入れつつ、大戦期の混乱を経て今日に至るまで、多様な発展を遂げてきました。日本森林学会では学会100周年を契機として、こうした日本各地の林業発展の歴史を将来にわたって記憶・記録していくための試みとして、「林業遺産」選定事業を2013年度から開始しました。8年目となった2020年度は、4件を林業遺産(登録No.42~45)として認定しました。選定結果は、2021年5月24日の日本森林学会定時総会において公表され、各遺産の所有者・管理者等に認定証・記念品が贈呈されました。

「林業遺産」についての詳細情報は、日本森林学会のホームページをご参照ください。

<https://www.forestry.jp/activity/forestrylegacy/>



登録番号	林業遺産名	認定対象	成立年代	所在地	認定理由	
42	かわらやまごようぼく 川浦山御用木 おきりだしえ ず 御伐出絵図	川浦山御用木 御伐出絵図	1834年 (天保5年)	群馬県高崎市 倉沢町川浦 高崎市役所	巨木の伐採から 河川を利用した 木材運搬までが 描かれており、近 世幕藩体制にお ける林業の様子 を伝えている。	
43	あきたはんかろう 秋田藩家老 しげまさみつ 渋江政光の りんぎょうしろう 林業思想に こもんじょ 関する古文書 せきり 及び石碑	澁江政光之遺言 黒澤道家之覚書、 山林盛衰之大凡 考 木山方以来覚、 澁江政光君三百 年祭記念碑、 第2回全国育樹 祭記念碑	澁江政光之遺言 黒澤道家之覚書： 1614(慶長19)年 山林盛衰之大凡 考 木山方以来覚： 1818(文政元) 年～(1831文政 13)年澁江政光君 三百年祭記念碑： 1913年第2回全 国育樹祭記念碑： 1978年	古文書：秋田県 公文書館、澁江 政光君三百年 祭記念碑：千秋 公園、第2回全 国育樹祭記念 碑：秋田県民 の森	林業に関する先 駆的な思想及び、 思想が約400年 間引き継がれて ることを示して いる。	
44	つばけさわ 坪毛沢 ちくせい ヒバ木製 ちさんえんていぐん 治山堰堤群	ヒバ木製治山堰 堤11基	1916年(大正6 年)及び1953年 (昭和28年)～ 1958年(昭和33 年)	青森県五所川 原市飯詰 飯詰山国有林 内坪毛沢	現地調達木材に よる治山堰堤群 であり、近代の 技術及び木製土 木構造物の耐久 性を知る上で貴 重な存在であ る。	
45	こうか まえびきのこ 甲賀の前挽鋸 せいぞう 製造および りゅうつう 流通に関する しりょうぐん 資料群	道具・用具 (総数1274点)、 文書資料 (総数418点)	江戸中期 ～昭和30年代	甲賀市甲南 ふれあいの館	日本社会におけ る森林資源利用 や建築文化に大 きな画期をもたら した前挽鋸に関 する技術や流通 の様相を示して いる。	

秋田県公文書館所蔵

出典：東北森林管理局Webサイト

甲賀市教育委員会提供



## みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神  
こばやし ゆうき  
小林 優希

### 座学・実技を学べるチェーンソー講習に参加

ついに、伐木等の業務特別教育講習を受け、チェーンソーを正しく使えるようになりました！6月1日と2日に神奈川県自然環境保全センターで行われた講習会には、私のようなチェーンソー初心者から、何十年も林業に携わっているプロの方まで、様々なレベルの方が集まりました。2日間で、チェーンソーの取り扱い方や注意点などの座学から、実際にチェーンソーで木を伐る実技までみっち



▲小さな刃の一つ一つを丁寧に研ぎます

りと学んだのです。

チェーンソーを動かすのは、この講習会が初めて。座学の時間にチェーンソーの危険性や過去の事故について沢山学んだため、いざ動かすとなると「事故を起さないといいな」「ちゃんと出来るのか」と不安でいっぱいでした。

装備をしっかりとし身につけていざ挑戦。レバーを引いてエンジンをつけるチェーンソーですが、なかなかエンジンがかかず、悪戦苦闘しました。どうやらエンジンをつけるには勢いよくレバーを引く必要があるようですが、女性にはその動きが難しいのだそうです。なんとか稼働させると、あとはスイスイと木を伐ることが出来ました。そうして、木材製

造業労働災害防止協会から労働安全衛生特別教育修了証をいただき、晴れて林業従事者の端くれになることが出来たのです！

### 自然と人工が共存する小網代の森

また先日は、神奈川県・三浦半島にある小網代の森に行きました。小網代の森は、現在私が通っている慶應義塾大学の名誉教授である岸由二先生らが、長い年月をかけて保全活動を進めている森です。約70haの森の中で、あらゆる生態系を見ることが出来ました。

そんな自然で溢れた小網代の森ですが、その自然が人工のものであるという



▲人の手で作られた森「小網代の森」にて

ことにとても驚きました。様々な生態系を維持していくために、岸先生を始めとした、小網代の森の保全活動に尽力されていらっしゃる方々が、手を加えていく日が増殖することがないように、川の流を変えて水分を多く含む土地を作り、そこをあえて木陰にするのだとか。「人工なのに自然、自然なのに人工」という不思議な場所でした。

他にも今月は、有明アリーナで行われた復興祈念植樹や、オンライン開催された「林業復活・地方創生を推進する国民会議」で司会を務めるなどの活動がありました。林業や木の活用に見識のある方々のお話を多方面で伺う機会をいただけることをとても嬉しく思っております。

最後に、NHKの連続テレビ小説『おかえりモネ』の放送が始まり1ヶ月が経ちました。第5週目の放送では、森林組合で働くヒロイン・百音が、小学校の机に地元材の木材を使用しようと尽力する姿が印象的でした。森林組合の方々が日々どのようなことを思い、働いていらっしゃるのかドラマを通して全国に伝わることを願っています！

令和  
3年度

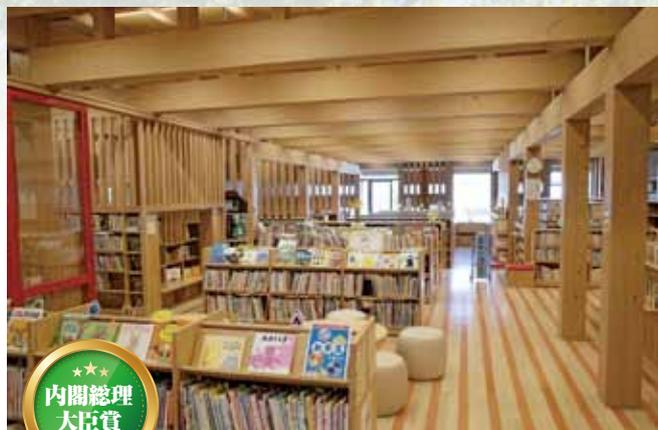
# 木材利用優良施設 コンクール作品募集中!

木材利用優良施設コンクール（木材利用推進中央協議会主催）は、木材利用の一層の推進を図り国産材の需要を拡大するため、地域の木材を持続的かつ有効に活用した施設、構造や防耐火面での木材利用の新たな提案や工夫のある施設、木材の良さが伝わるデザイン等に工夫がみられる施設などについて、審査・表彰するものです。

特に優れた施設には、内閣総理大臣賞等の特賞（13点程度）と、今回から新たに入賞作品（50点程度）を選定し、公表します。

たくさんのご応募をお待ちしています！

## 令和2年度を受賞施設



\*\*\*  
内閣総理  
大臣賞

白鷹町まづくり複合施設（山形県白鷹町）



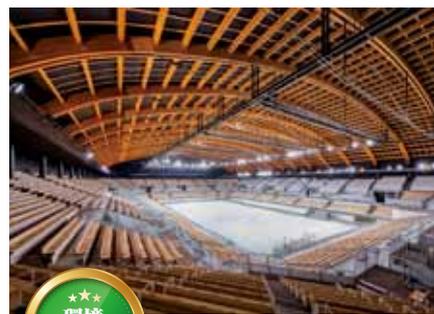
\*\*\*  
農林水産  
大臣賞

mother's +  
（北海道白老町）



\*\*\*  
国土交通  
大臣賞

魚津市立星の杜小学校  
（富山県魚津市）



\*\*\*  
環境  
大臣賞

有明体操競技場  
（東京都江東区）

### 応募について

木材利用推進中央協議会 HP： <http://www.jcatu.jp/concours/>

応募方法：上記 HP より応募様式をダウンロードしてメールでご提出ください。  
（Word 形式又は Word から PDF 化した電子ファイルに限る）

提出先メールアドレス： [contest-2021-accept@zenmoku.jp](mailto:contest-2021-accept@zenmoku.jp)

応募期間：6月28日（月）～8月23日（月）

審査費用：無料



### お問い合わせ

〒100-0014  
東京都千代田区永田町 2-4-3  
木材利用推進中央協議会  
担当 肥後、米望  
TEL：03-3580-0335

